

しろうま祭【7月9日~11日】

コロナ禍で様々な制限もありましたが、第70回の節目となるしろうま祭を無事に開催することができました。今年のテーマは、すべての人に幸せを感じてほしいという願いを込めて「幸」となりました。

現下の厳しい状況の中で、しろうま祭を盛り上げるために何ができるのか、生徒会役員の生徒が中心となって知恵を絞り、持てる力を集結させて本校なりの「幸」を創り上げることができました。









11日の一般公開は、来場者を保護者の方と地元の小中学生に限定し、事前申し込み制で実施しました。体育館では、小谷吹奏楽団との合同演奏や軽音楽部、ダンス部の発表、最後に信州小谷太鼓の演舞があり、大きな盛り上がりを見せました。

今年はコロナ禍で制限される中での開催になりましたが、来年は地域の方々にも広くお越しいただけることを願い、よりよいしろうま祭を創り上げていきたいと思います。

全校制作企画として、第70回を記念したタイルアートを制作しました。このタイルアートは、毎朝登校してきた生徒の目に入るようにと、昇降口に設置されました。全校制作の係長からは、「第70回の節目となる年に、これからも白馬高校に残るものができてよかった」と、喜びの声が上がりました。

各クラスルームでは、カジノや駄菓子屋など、それぞれ創意工夫を凝らした教室企画が行われました。その他にも、部活動による体験型企画や展示企画、外ステージでの有志発表などがあり、生徒は思い思いに楽しんでいました。



後夜祭

ファイヤーストーム